

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根強羅PJ	階数	地下1階地上4F
建設地	足柄下郡箱根町強羅字向山1320番56	構造	RC造
用途地域	第2種低層住居専用地域、指定なし、法第22条区域	平均居住人員	68人
地域区分	6地域	年間使用時間	6,950時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2019年12月23日
敷地面積	4,650 m <sup>2</sup>	作成者	大成建設(株)一級建築士事務所
建築面積	1,265 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,459 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

環境品質 G vs 環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 79%  
③上記+②以外の 79%  
④上記+ 79%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.7  
Q2 サービス性能: 2.8  
Q3 室外環境(敷地内): 3.0  
LR1 エネルギー: 3.5  
LR2 資源・マテリアル: 2.8  
LR3 敷地外環境: 2.9

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境 (スコア=2.7)

#### Q2 サービス性能 (スコア=2.8)

#### Q3 室外環境(敷地内) (スコア=3.0)

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー (スコア=3.5)

#### LR2 資源・マテリアル (スコア=2.8)

#### LR3 敷地外環境 (スコア=2.9)

3 設計上の配慮事項		
総合	既存環境を活かしながら、宿泊施設としての快適性に配慮する計画とした。	
その他		
Q1 室内環境	滞在時間の長い客室は、遮音性能、化学汚染物質、取り入れ外気について配慮した。	Q2 サービス性能
		滞在時の快適性について配慮し、客室の広さや内装計画に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)		
LR1 エネルギー	BEIm=0.75、LED照明設備を導入	LR2 資源・マテリアル
		泡沫水栓に加えて、節水型便器などを用いている。
LR3 敷地外環境		

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される